

April 2019

新たな段階と局面を迎える世界宣教

ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

(マタイの福音書 13章23節)



聖所から流れ出る水ミッション

代表 エルサレム杉澤

当ミッションの働きのために、尊いお祈りとご献金を有難うございます。当ミッションの母体であるTLEA東京アンテオケ教会では2018年11月新年度のみことばに始まり、12月は教会の名前の変更を示されるなかで、今までとは異なる次の段階の働きと新たな局面に入りました。明らかに当ミッションの働きも次の新たな段階の働きと新しい局面の働きを担うために、更に皆さまのお祈りとご献金をよろしくお願い致します。

1月は当ミッションの宣教師である東京アンテオケ教会パウロ秋元牧師の米国宣教師ビザの延長手続きの時期を迎え、今までの様に延長許可がおりるまで約6ヶ月間を覚悟して手続きに入りました。ところが、今回は何と約1ヶ月間と言う異例な早さで延長の許可がアメリカの移民局よりおり、現在日本のアメリカ大使館でビザのスタンプを取得するための手続きを進めています。新しい段階と局面を迎える米国宣教の働きにおける神の計画とみこころの確認を受けることが出来ました。

2月に行われた白馬スネルゴイキャンプは過去最高の参加者数となり、リバイバルのクライマックスの働きの時の近さを覚えました。

3月には、1987年に当ミッションから初となる短期宣教チームを招いてくださったフィリピンのカスティーヨ牧師が召天されました。また、2011年12月に宣教チームがドイツのドレスデンで聖会をした際来られたドイツ人牧師ご夫妻が、東京アンテオケ教会の主日礼拝に出席されました。そして、ドレスデンの彼らの教会に宣教チームを送ってほしいという正式な招聘がありました。又、TLEAプラハ教会(チェコ)が、現地の使徒団の教会と共に行うクリスマスコンサート及び教会奉仕への招きもあります。このように数えあげればきりがありません。明らかに大きな時の変化が来ており、世界宣教の働きは新しい段階と局面を迎えています。徹底して主に聞き従い、万端に準備を整え、本格的な働きをしっかりと担っていく必要があります。

写真：パウロ秋元牧師

3月東京カリスマ聖会

ハイアットリージェンシー東京

